

## アユモドキ：スタジアム建設是非問う住民投票を…市民団体

毎日新聞 2013年05月13日

京都府が同府亀岡市で計画している球技スタジアムについて、地元で自然保護活動をしている市民団体「亀岡みらいづくり隊」（向井弓子代表）が、建設の是非を問う住民投票実施に向けて7月中にも署名活動を始めると決めた。計画を巡っては、予定地に生息する国の天然記念物の淡水魚「アユモドキ」が絶滅する恐れがあるとして、日本魚類学会などが計画の撤回を求めている。

同団体のメンバーは会社員や主婦ら約30人。アユモドキなどの生物に与える影響▽市の財政負担▽計画のメリット、デメリットなどの情報が市民に伝わっていないとして、法的に必要な有権者の50分の1（約1500人）の署名を集め、栗山正隆・亀岡市長に住民投票条例制定を直接請求する。

スタジアムの予定地はJR亀岡駅北側の水田約13ヘクタール。亀岡市が買い上げ、府に無償提供する。アユモドキは、国内でこの場所と岡山県内2カ所でしか生息が確認されていない希少種。スタジアム建設に伴い、生息環境を維持する「共生ゾーン」が設置される計画だが、日本魚類学会は「効果が十分に検討されていない」としている。【村田拓也】